

『桜 memories』 寸評

- ・ 規模の大きい総まとめのような作品
- ・ 16小節ではややキツキツだったかもしれない 特にm.15
- ・ すぐに特徴をアラワにしない それが記憶というもの
- ・ 伴奏部の多彩さが耳を奪う m.10の意外なスタッカートがよく効いてる
- ・ タイトルも ウィンクしているかのやうに見えるフォントのとりまぜも◎

完成度をさらに上げるために

- ・ m.13 b.1-2 右手 きつとタイが落ちてる
- ・ m.15 b.1 主和音の期待をわざと外してみる

- ・ m.12,14 b.1-2

←タイを使って記譜

- ・ m.7 Fl. の二分休符にもフェルマータを
- ・ m.16 b.2 右手 フレーズの性格上スラーがあつてよい
- ・ m.14 b.3 左手 修正したい

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

堂々たる終止の迫力。
持毫 勉